

令和7年度 獨協医科大学大学院医学研究科入学者選抜試験（2次募集）  
専攻科目試験 内科学（神経）

・意図

〔設問1〕

研究における利益相反の概念を受験者が正しく理解しているか、また研究の信頼性および透明性を確保するために利益開示が必要な理由を理解しているかを評価する。研究資金や講演料などの具体例を通じて、研究倫理に関する基本的な認識を確認する。

〔設問2〕

研究および論文執筆における著作者資格の原則を理解し、著者に求められる責任と貢献を適切に説明できるかを評価する。不適切な著作者資格（名義貸しなど）を防ぐための基礎的理解を確認する。

〔設問3〕

基礎研究と臨床研究の相互関係について理解しているかを確認し、研究の方向性および役割の違いを正確に区別できるかを評価する。特に、臨床現場の課題が基礎研究へフィードバックされるプロセスを含めた医学研究の理解度を確認する。

〔設問4〕

研究実施に関わる一連のステップ（研究計画、倫理審査、インフォームド・コンセント、研究実施、データ解析、論文執筆）について体系的に理解しているかを確認する。計画的かつ倫理的な研究遂行の姿勢を評価する。

〔設問5〕

臨床研究におけるインフォームド・コンセントの意義を理解し、研究対象者の権利保護および倫理的配慮の重要性を認識しているかを評価する。同意を得ることにとどまらず、十分な説明と自発的な同意の必要性を理解しているかを確認する。

・解答

〔設問1〕

解答には、

- ✓ 利害相反の基本的な定義
- ✓ 研究の信頼性・透明性確保の重要性
- ✓ 研究費，助成金，講演料，顧問料などの開示の必要性  
などが含まれていることが望ましい。

[設問2]

解答には、

- ✓ 研究への「有意な貢献」が必要であること
- ✓ 研究の着想・計画，データ取得，解析，解釈などへの関与
- ✓ 論文執筆または重要な改訂への関与
- ✓ 論文最終版の承認を全著者が行う責任  
などの要素が含まれていると評価が高い。

[設問3]

解答には、

- ✓ Translational research が「基礎研究から臨床応用へ」の研究であること
- ✓ Reverse translational research が「臨床の疑問を基礎研究に戻して検討する」研究であること  
また、具体例（臨床検体やゲノム解析など）が挙げられていることが含まれていれば十分な理解が示されていると判断し、加点対象とする。

[設問4]

解答には、

- ✓ 研究計画の立案（対象，サンプル数，方法，解析）
- ✓ 共同研究者の決定
- ✓ 研究計画書の作成と倫理審査申請
- ✓ インフォームド・コンセントの取得
- ✓ 研究遂行，データ収集・解析
- ✓ 論文執筆  
などの項目が含まれていることが望ましい。

[設問5]

解答には、

- ✓ 患者・研究対象者への十分な説明
- ✓ 理解と納得に基づく自発的同意
- ✓ 臨床研究における必須性
- ✓ 原則として書面で取得すること  
などの内容が含まれていれば適切である。